

豊かで伸びやかにそしてたくましく



スカウト みやぎ

NO. 7

発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟
発行日 平成17年6月30日発行

平成17年度宮城県連盟年次総会



一宮城県連盟役員一

連盟長 浅野 史郎
副連盟長 佐々木 重兵衛
鈴木 久直
郷家 照夫
理事長 千田 好男
副理事長 郷家 智道
芳賀 文藏
大久保 孝

県コミッショナー
大山 英典

宮城県連盟事務局長 大久保 孝

着席し議案審議にはいりました。

県連盟執行部より関連事項についてそれぞれ報告がありこれに関する議員より質疑や意見などが述べられました。活動情報の早期周知、ステップアップ100運動、未組織地域への対応、スカウト運動加盟員の減少、予算の効率的支出、広報活動の充実、世界スカウト運動100周年記念県連盟関連事業、等々活発に進められた事業報告と決算、事業計画と予算等については原案どおり承認されました。

第1日目は一般議案審議で終了し役員人事案件については第2日目となりました。また本年度は県連盟役員の改選期にあたるために、これに関する議案について審議いたしましたところですが改選後の氏名、担当役務については別記のとおりです。前年同様に千田好男理事長を先頭として加盟員スカウトの充実した活動の展開を各団提携して進めることになりましたのでよろしくお願いします。

平成17年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会が平成17年4月29日（金…みどりの日）、30日（土）東部地区担当で松島町高城「パレス松洲」で開催されました。

総会は開会式の国旗儀礼に始まり続いて東部地区泉第1団ベンチャースカウト岡本慎太郎君の唱和するスカウトの「おきて」に参加者一同が続く中で始まりました。連盟長所用のため郷家照夫副連盟長より連盟長のメッセージを披露しながら式辞をいただきました。

平成16年度においてスカウト進歩「菊章」取得者17名に対して「褒状」が贈られ表彰されました。また、加盟員に対して表彰も続いているなわれました。

ご来賓より祝辞、祝電の披露などで開会式が終了しました。暫時休憩、会場整理の後議案審議に入りました。千田好男理事長挨拶のあと定足数、議長選出、議事録署名人の選出、書記任命一連の手続きを終了。議長席に多賀城第2団郷古毅氏

世界スカウト運動創始 100 周年をバネに

一人でも多くの仲間を

日本ボーイスカウト宮城県連盟

理 事 長 千 田 好 男

ガソに運動を展開されておりますことに厚く御礼を申し上げます。

昨年 5 月に世界スカウト運動創始 100 周年記念オープニングセレモニーを開催しましたが、今年の記念行事として、仙台藤崎デパート（スカウト需品販売協力店）のご厚意によりまして、「スカウト展」を開催することとなりました。

スカウト関係者はもちろんのこと、多くの皆さんにご来場いただきスカウト運動を理解され一人でも多くの仲間が増えることを期待しております。又、7 月 26 日からは、第 2 回北海道・東北ブロックキャンポリーが、北の大地帯広で開催されますが宮城県から 250 名が参加いたします。

今年も学校や家庭、地域社会、関係諸団体との連携を深めながら、スカウト運動の使命を果たそうではありませんか。



平成 17 年度県連盟年次総会を松島町で開催し 2 ヶ月が経過しました。この間、各団、各地区では県連の最重点目標であります「スカウト運動の基本を大切に加盟員数を拡大する」又、「よりよいスカウティングをより多くの青少年に」をスロー

★ おめでとうございます ★ 永年スカウト活動にご奉仕、功績のあった指導者と優秀スカウトが表彰されました

日本連盟有功章受賞（かっこう章）

臼井志道（仙台第 35 団育成会会長）

渡辺七郎（宮城県連盟理事・岩沼第 1 団）

県連盟褒状（精励スカウト）・・・（菊 章）進歩章取得スカウト

桜井 義孝	名取 第1団	ボーイ隊
目黒 芳彦	名取 第1団	ボーイ隊
大沼 幹	名取 第1団	ボーイ隊
高橋 涼	名取 第1団	ボーイ隊
阿部 治	石巻 第2団	ボーイ隊
松本 大生	石巻 第2団	ボーイ隊
高梨 東	石巻 第2団	ボーイ隊
平塚 将人	石巻 第1団	ボーイ隊
小松 依織	石巻 第6団	ボーイ隊

石垣 友衣	泉 第1団	ボーイ隊
鈴木 一平	泉 第1団	ボーイ隊
門間 健人	泉 第1団	ボーイ隊
岡本孝次郎	泉 第1団	ボーイ隊
今津 幸高	泉 第1団	ボーイ隊
岡崎 史浦	仙台 第41団	ボーイ隊
早川 祐介	仙台 第1団	ボーイ隊
足利 光	仙台 第1団	ボーイ隊

県連盟表彰（特別有功章）

（有功章）

堀 道子	白石 第1団	カブ副長
斎藤 好	白石 第1団	ビーバー隊長
橋元 健	角田 第1団	团委員長
千葉 正雄	仙台第 28 団	カブ隊長
村上 要二	仙台第 12 团	团委員
千葉満喜雄	仙台第 37 団	副团委員長
村越 充	仙台第 37 団	ビーバー隊長

笠原みち子 石巻第 2 団 団委員

郡山 五郎	仙台第 41 団	ボーイ副長
陣野 豊実	仙台第 41 団	ボーイ副長
松尾 芳郎	仙台第 41 団	团委員
大沼 知光	石巻第 6 团	团委員
小林 忠光	迫 第 1 团	团委員
松本 周平	古川第 1 団	ボーイ隊隊長
佐藤 道男	泉 第 1 団	ベンチャー隊隊長

県連盟感謝状

株式会社 感動コーポレーション
代表取締役 小野寺 豊 殿

東北電子工業株式会社
代表取締役 佐藤 幸太郎 殿

平成17年度日本連盟年次全国大会

県コミッショナー 大山英典

平成16年5月に開催された年次全国会議・評議委員会・理事会において、これまでの全国会議の機能を評議委員会・理事会に移し本年度から新たに「年次全国大会」として福岡市で開催された。

第1日目は、500名を超える全国のスカウト関係者をはじめ、多くの来賓を迎えて開催され、「教育フォーラム・イン・福岡」では第1部として日本アイビーエム株式会社最高顧問である椎名武雄氏を講師に迎えて「企業が求める青年像とは」と題した企業のリーダーから見た現代の青年像とこれからの社会から求められるであろう人材育成のあり方について記念講演が行われた。

第2部として「青少年が豊かで幸せな社会を構築するために私たちにできることは何か」と題したシンポジウムでは、福岡中央銀行代表取締役会長森山靖章氏、福岡大学教授大谷善博氏、NPO法人コーン事務局長重政子氏、北九州第37団ローバースカウトをシンポジストとしてそれぞれの立場から見た取り組みについて意見の交換が行われた。

第2日目は、「テーマ別集会」と「専門分科会」が開催された。

テーマ別集会では、広報・組織拡充・プログラム・指導養成・国際活動の各テーマに分かれ、専門分科会としては富士章受章スカウトプロジェクト発

表・スカウトクラブの集い・スカウトロータリアンの集い等多くの参加者を得て意見交換、情報交換・発表の場として開催された。

又、世界スカウト機構が世界スカウト運動創始100周年記念事業として提唱している「ギフト・フォー・ピース」プロジェクトについて関係ローバースカウト、ガールスカウト実行委員会から「声明文」が発表された。

2007年に迎える世界スカウト運動創始100年に向け青少年自らがそれぞれにとって「平和」について深く考え、スカウティングそのものが平和活動であることを認識していくこと。それぞれの活動の中で「平和」への意識を高め行動を起こしていく。

このギフト・フォー・ピースプロジェクトをつくり上げていくのは自分たち一人一人であり積極的な行動を起こしていくことによって周囲の人々へ、さらには地域社会へと広げ、より多くの人達の平和への想いをつなげていきたいと力強いメッセージであった。

今回は各種テーマ別専門分科会が設定されており、すべてに参加する事は無理であるが、多くの意見交換・情報交換の場として開催されたことに高く評価できるものがあり、次年も大いに期待したい。

第1回団担当コミッショナー研究会

団担当コミッショナーサポート 須藤英一

「第1回団担当コミッショナー研究会」を塩釜公民館で6月5日に開きました。

当日は各地区から5名の団担当コミッショナーが参加。各担当団の事例発表を行い、そのことに対して熱心な討議がなされ中味の濃い研究会でした。

昨年7月1日から宮城県連盟で導入した団担当コミッショナー制度は、施行して早くも一年が経過しようとしています。

これまでには、ハッキリとした相談窓口がありませんでしたが、今回団担当コミッショナー制度が導入されたことにより、地区・団などにおいて少しづつ変化が生じています。

団担当コミッショナーが団訪問を実施することによって、これまで地区や団が抱え込んでいた問題、又単独団ばかりではない複合的な問題点も

事例として表面化してきました。

そのことは団担当コミッショナー制度の導入における成果であり、団の活性化に向けての大きな前進と考えています。

しかし反面、理解を持って迎えてくれる団ばかりではありません。また団担当コミッショナーの任務に対して理解不足も多少見うけられます。これらの点については今後早い時期に何らかの方法で理解を促す必要があります。

午後には県、地区正コミを交えての意見交換を行いました。

今回の研究会をとおして団担当コミッショナーがスカウト活動に果たす役割と、その存在意義の大きさを改めて感じました。

～次回の研究会は11月開催の予定です～

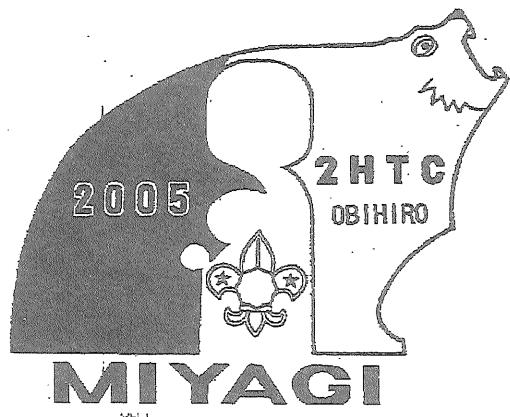
第2回北海道・東北ブロックキャンポリーの準備は進んでおりますか！！

「夢大陸十勝 飛び出そう！ 感動と冒険のたびへ」

「第2回北海道・東北ブロックキャンポリー（略称：2HTC）」は「世界スカウト100周年記念事業」として7月26日より帯広市で開催されます。

帯広の60%は平坦地で、大会の主会場「帯広市北愛国交流広場」もサブ会場「帯広市緑ヶ丘公園周辺」も一面が緑の芝生の広い平坦地でした。

ボーイ隊・ベンチャーチーの野営地「帯広市北愛国交流広場」のキャンプサイトは、水はけの良いふわふわの芝生で覆われ、近くには日本一きれいな清流の札内川があり、この札内川での「筏くだり」「トライ・フィッシング」「パークゴルフ」や「砂金堀体験」「熱気球搭乗体験」などの北海道十勝の大自然を存分に取り入れた数々のプログラムがいっぱい用意されております。



ビーバー隊・カブ隊の開会式が行われる「帯広市緑ヶ丘公園」には一度にたくさんのスカウトが座れる400mの長いベンチや野外ステージなどの施設があり、芝生の広場はボーイ隊・ベンチャーチーの「大野遊会（焼肉パーティー）」会場になります。

「20km進級ハイク」のプログラム（選択科目）は「幸福駅」から「愛国駅」まで十勝の大自然を感じ取れるすばらしいハイクコースです。

北海道までは、仙台港から苫小牧港まで560km、14時間余のフェリーの旅です。

2HTC特別委員会 横澤 繁

乗船する船の往路は「M.S.Ishikari」（総トン数15.000t・全長192.5m・全幅27m・最大速力24ノット）、復路は「M.S.Kitakami」（総トン数14.000t・全長192.5m・全幅27m・最大速力24ノット）です。

2HTC宮城県連盟派遣団の概要を紹介します。

1. 参加者数 240名

（内訳：スカウト200名、指導者40名）

2. 派遣団編成

（1）派遣団本部 団長：千田好男理事長

副団長兼輸送責任者：大山英典県コミッショナー 庶務班長：菅野五郎理事
事務局：横澤繁理事、佐藤豊

（2）大会本部奉仕

輸送部：渡邊裕仙台（22団）

（3）派遣隊 ①ボーイ隊：宮城第1隊（仙南地区28名） 宮城第2隊（仙台第1団22名） 宮城第3隊（仙台11、12、22、28、41団24名） 宮城第4隊（仙台30、35、37団27名） 宮城第5隊（名取1団34名） 宮城第6隊（東部地区32名） 宮城第7隊（石巻地区19名） 宮城第8隊（県北地区、仙台45団23名） ②ベンチャーチー隊：ブロック混成隊へ12名 ③ビーバー・カブ混成隊（塩釜1団13名）

（4）派遣団の輸送方法

① 輸送手段 太平洋フェリー（仙台港～苫小牧港）・貸切バス（苫小牧～帯広会場）

② 往路日時 7月24日（日）20時
仙台港出航・翌25日（月）午後
会場着

[ビーバー・カブ隊は7月26日（火）
20時仙台港出航]

③ 復路日時 7月30日（土）午後会場出発・翌31日（日）9時20分
仙台港入港

仙台・青葉まつり 「第20回子と親のウォークラリー」

仙台地区広報委員長 柿沼富雄



パンフレットはモンキーブリッジを渡ったご褒美に配布と仙台地区役員が渡して歩き100枚を配布しました。県連盟から大山コミッショナー、菅野組織拡張委員長、東部地区からは高橋総務委員長が見学に来ました。地区役員の他、各団の隊長、副長、ベンチャースカウトのみなさまに感謝いたします。

5月8日(日)仙台商工会議所青年部主催の青葉まつり前週ウォークラリーが肌寒い日曜日に開催されました。大崎八幡宮出発、約2時間で西公園のゴールに入ってきました。参加者数1500人と多くの子と親がやって来ました。西公園では、仙台地区で用意したモンキーブリッジにたくさんの子供達が集まり、1人で6回以上も渡る子もいて大変盛況でした。約200人が渡りました。

また、マーキーテント内では、スカウトのパネルや制服、ワッペン、記章、進級章、ロープワークなどを展示しました。

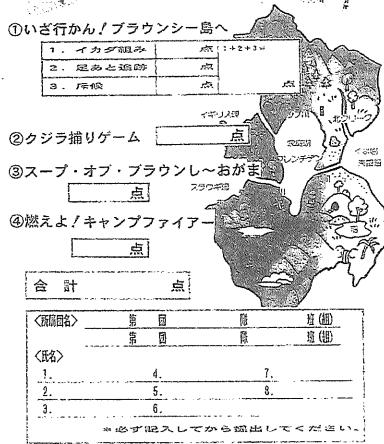
第28回東部地区B-P祭

平成17年2月20日 於 塩釜公民館

平成15年度鹿島台で開催された「B-P祭」(ボーイスカウト運動創始者ベーデン・パウエル卿の生誕祭)はペットボトルの櫓組み立てアトラクションが大好評だった。

第28回東部地区B-P祭

「ブラウンシー島」大冒険!!



ス沖合い「ブラウンシー島」での実験キャンプ・・・を模したアトラクションを導入した。

開式に先だってOHPでベーデン・パウエル卿の写真集、「ブラウンシー島」の位置(労作)、当

時のスカウティングの資料などを投影した。

開会宣言に続いて各種表彰。「スーパーカブ章」で表彰を受けたのは小林貢平君(多賀城2団)。

ビーバー・カブ表彰の「銀の小枝章」「金の小枝章」、また今回作成した記念ワッペンの「ワッペンデザイン章」表彰があってゲーム開始。

ストーリーは指令書に沿って ①いかだを作り「ブラウンシー島」に渡り ②動物の足跡を追跡し ③双眼鏡を操作して遠方トランプカードサイズの国旗を読み取り ④クジラ捕りゲームに興じ ⑤炊事ゲーム ⑥「燃えよ! キャンプファイヤー」歌合戦と一連のキャンプ実施をなぞった。

参加団は塩釜1団、塩釜3団、塩釜4団、泉1団、多賀城2団、鹿島台、泉2団、ガール19団でボーイ隊3チーム9班、カブ・ビーバー・ガール隊3チーム12班を編成し、班毎に得点を獲得した。

参加したスカウト・・おもしろかった ♪♪

< 総会開催 >

桜の咲き誇る、4月16日（土）仙南地区の地区総会が開催されました。会場は年度持ち回りで、今年は村田町中央公民館となりました。

今年の総会には、県連盟より千田理事長にお越し頂き総会の前にご挨拶いただきました。

議事については、昨年度の事業報告・決算、本年度の事業計画・予算の承認。役員人事。その他。と言った内容の議事となりました。

役員人事としては、先期まで2年間地区委員長を務めた白石第1団南館さんが退任され、村田第

仙南地区

1団高橋さんが来期までの2年間地区委員長を務めることになりました。

それに伴い、各種委員会のメンバーも大幅に更新されました。

総会後、会場を移して懇親会が開催されました。懇親会では、リーダーを含めた自己紹介から始まり、各団との情報交換・2HTCに向けた対応の話題、また地元の話題などで盛り上がり、最後は、仙南地区の発展を全員で確認し合い、閉会となりました。

< カブホリデー 2005 >

6月5日（日）、東部地区「カブホリデー2005」が開催されました。



集まったスカウトは泉1団、泉2団、塩釜1団の総勢33人です。仙台駅での集合時は、皆キビキビと行動し、

とてもスカウトラしかったですよ。

さて、謎の指示書を手に6班編成で地下鉄ラリーが始まりました。仙台っ子も知らないディープな仙台の街探検の始まりです。

ポイントまでの行き方はスカウトが決めます。

東部地区



皆真剣に地図とビルを見比べてましたよ。

藤崎デパートの屋上に恵比寿神の神社があるなんて知ってました？

広瀬通り駅の「星空のプロムナード」に描かれている星座は45個なんですね。

やはり一番人気だったのは河原町の「石橋屋駄菓子資料館」でした。

皆時間を忘れて駄菓子の品定めに夢中で、付き添いの大人までなつかしい駄菓子をお土産に買い込んでましたよ。事務局の皆さん、楽しいカブホリデーをありがとうございました。

< 地区を越えた奉仕活動に感謝 >

5月14日「ライオンズクラブ国際協会332C地区第51回年次大会」が涌谷町で開催されました。



涌谷ライオンズクラブは古川地区、ボイースカウト涌谷一団は石巻地区に所属という関係から、今回の奉仕活

県北地区・石巻地区

動は県北・石巻地区合同の奉仕活動で行うことになりました。

細かな打ち合わせは、当日の朝しか出来ないという状況でしたが、普段の訓練を活かし、無事使命を果すことができました。

この地区を越えた奉仕活動が宮城県のライオンズクラブ会員に好印象を与えたのは間違いないと自負しております。

いきいき 団活動

ボーイスカウトが持つプラカードが先導（春祭り）

白石第1団



若葉の季節となり山々も緑に輝く5月3日(火)、白石市民春祭りが開催されました。

白石1団ではボーイスカウトの活動を一般に広く知っていただくために毎年の春祭りと夏祭りにプラカード先導として参加させて頂いております。

今年は雨も無く天気は快晴、9時半の集合時間からすでに汗ばんでくる暖かさ、スカウトたちにも暑ければ腕まくりするように指示し一人一人所定の位置について行列のスタートを待つこと30分、いよいよ春祭りの始まりです。

一番初めにスタートするのは我々ボーイスカウトが持つ大プラカード、その後ろに続く各町内会のからのみこし行列をカブスカウト、ボーイスカウトのプラカードが先導します。

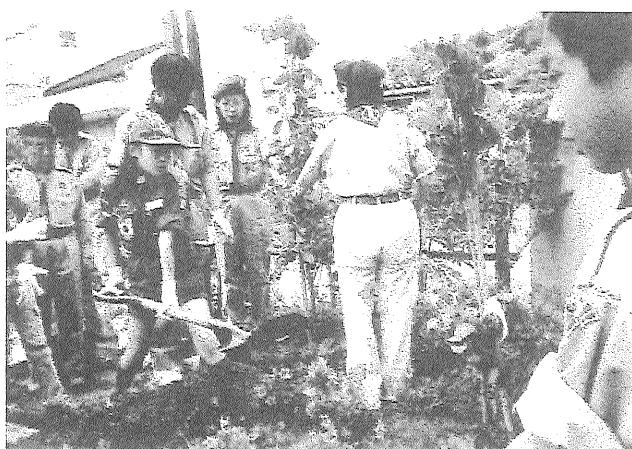
今年の新入スカウトも大勢の観衆の中堂々と胸を張り歩きました。



そのプラカードを持つ我々スカウトの凛々しい姿は今年も白石市民の心に深く刻まれたことでしょう。

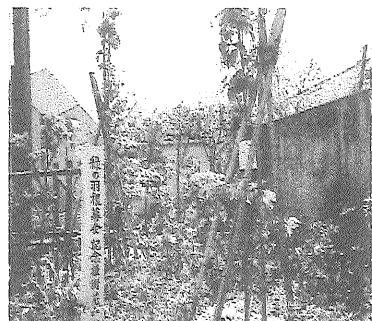
そして今年の春祭りも無事に終了、参加のお弁当を皆でいただき解散となりました。

～ハナミズキを植樹～



「緑の羽募金にご協力お願いします！」と、子供達の元気な声が街角に響いている。ビーバー隊やカブ隊の大きな声の中に、ボーイ、ベンチャー

仙台第1団 西村博子
隊の低い声が追いかけていく。そして時々、「ありがとうございました！」と、弾んだ声がこだまする。幾日かの募金活動を終えて集まったお金で、いつもお世話になっている、『泉社会福祉センター』への感謝の気持ちとして、ハナミズキの苗木を植樹してきた。あれから1年、子供達の成長とともにみごとな花をつけて、センターに訪れる人々の目を、楽しませてくれていると思う



スーパーカブ誕生

岩沼1団 渡辺七郎

ボーイスカウト岩沼第1団では、5月28日にカブスカウト隊（原間井昭彦隊長）に待望のスーパーカブスカウト第一号が誕生し、隊長から認定された。

この栄誉に輝いたのは伊藤雅一君で、平成15年にカブ隊に上進してから毎年目標を立てて着実に進歩科目に履修に取り組んできた。最後に残った課目は『フィッシャーマン章』で、青空の戻った5月21日お父さんと一緒にハゼ釣りに挑戦してチャレンジ章を達成。ボーイスカウト日本連盟がカブスカウトの進歩課程に設定した40の選択科目（チャレンジ章）の全科目を完修したことになったのであった。

この間、伊藤君の努力に加えて、遙か単身赴任中の宇都宮から毎月数回帰宅して隊集会で指導に当たった隊長を始め、他の指導者や父兄など沢山の人々に指導や激励を受けて実現したのであった。

伊藤君は『気象学者』では1ヶ月間に亘って新聞の天気図を切り抜いてノートに貼ったり、毎日

同じ時間に温度・湿度・風向きを観測して記録することが一番大変だったと言っているが、まだスーパーカブに挑戦中の友達にチャレンジ章習得を手伝い、更にボーイ隊に上進したら菊スカウト（註）を目標に頑張りたいと力強くこのたびの快挙の喜びを語っていた。



(註)

菊スカウト章はボーイスカウトの進歩章で最上級の章

友団春期舎営

仙台35団 カブ隊副長 阿部ケイ子

去る5月3日～5月5日、2泊3日間の予定で、花山少年自然の家で、仙台30団・仙台35団・ビーバー隊・カブ隊合同舎営を実施しました。

活動の一つ、緑化募金運動で得た還元金を元にど



んぐり広場にドングリの木50本を植樹させて頂きました。

初めて持つ鋤の重さに、苦労しながらもやっと

穴を掘り、どんぐりの木を植えました。

そして、怖いけど楽しみにしているナイトハイクでは、7人で1グループ行動。真っ暗な山道を歩きながら、文字を見つけます。1つでも見落とすと言葉になりません。スカウトは、“見つけた”“見つけたよ”と喜んでいましたが、先頭である私の本音は怖いの一言です。

ハイキングと沢登りでは、スカウトは一番楽しみにしていた活動だけに、リーダーはいつも安全を確認して、水と自然の豊かさを体感させました。川の流れに逆らって上流へと進みますが、その様子を見ていると、まるでカルガモ親子が行進しているみたいでした。

今回の花山舎営で沢山のこと学び体験できました。

～スカウト達よ、感謝の気持ちを忘れないでね～

『 カブ チャンピオン！ 』

古川1団 カブ隊々長 久光和明

ボーイスカウト古川第一団カブ隊では、過去にチャレンジ章全科目を制覇した男子スカウトがいました。しかし、チャレンジ章が40種目に変わり各スカウトが挑戦してあと少しで達成できなかったことを、今年4月30日に待望の全科目制覇を成し遂げた女子スカウトがでたので紹介します。平成14年9月15日に入隊し、現在は、富永

小学校5年生、くまスカウトの石森真結さんです。組では、年下のスカウトにはやさしいお姉さんで次長をしています。全科目を制覇するにあたり、本人の努力とご両親のご協力があって成し遂げられたと思います。

おめでとう！ カブ チャンピオン！！

古川第一団カブ隊 石森真結

。。友だちと競争しながら。。

「もう20コ？はやくない？」カブスカウトでは、私と同じ名前のスカウトと大の仲よしです。その友だちがカブに上進してからは、競争しながらチャレンジ章集めをしました。ひとつ年下の友だちにおいこされるとくやしいので、一生けん命がんばりました。今は、二人でチャレンジ章を全部とれてとてもうれしくて、最高という気分です。

「最高イエーイ！！」



竹林のカブ隊秘密基地つくり

竹飯と竹蒸しパンに挑戦

涌谷1団 カブ隊隊長 木村 敏

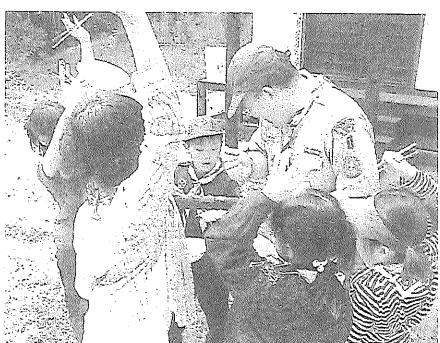
涌谷1団カブ隊は、5月8日、15日涌谷町内福沢地区にある、八十八カ所（四国八十八箇所を祀る）で活動しました。



8日は、山の中の竹林で竹を切り、みんなで協力してひみつ基地をつ

くりました。のこぎりで竹を切るのは全員が初めての体験です。竹で弓矢をつくり、的あてもしました。

15日は、自分で切った竹で箸とおわんをつく

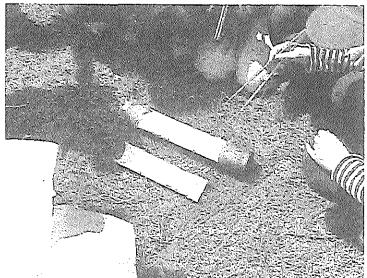


り、リーダーたちがゆでたうどんをみんなで食べました。

そのほか、竹に米を入れてご飯つくりや、竹にホットケーキミックス

をいれて蒸パンも試しました。

残念ながら、竹筒のご飯は竹が焦げて大失敗。しかし蒸パンはまあまあの出来で、カブ隊のみんなには大好評でした。

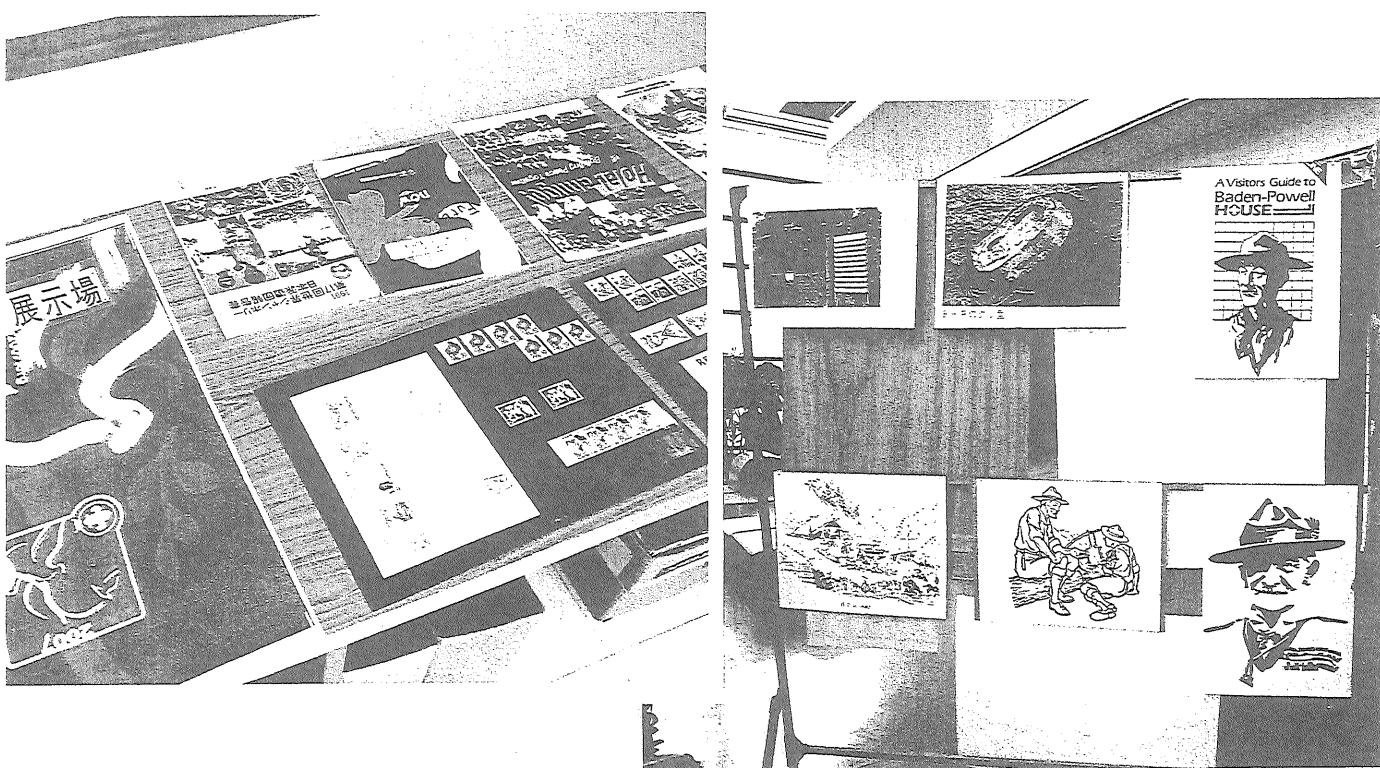


世界スカウト運動創始100周年記念宮城県連盟事業

『世界ボーイスカウト展』

開催期間：平成17年8月19日（金）～31日（水） 13日間
会場：藤崎一番館 4階フロア（制服売り場）
展示内容：ボーイスカウトPRパネル各種・県地区団所在地照会パネル
ワッペン・制服・ネッカチーフ・チーフリング・ベルト・バックル等
サイト：クラフトコーナー・ゲームコーナー・むすびコーナー

期間中、ぜひ足をお運びください。



平成17年度日本ボーイスカウト宮城県連盟広報委員会

広報委員長 堀越祐寿、仙南地区 大沼茂雄、東部地区 大泉雅弘、県北地区 守川 誓

副委員長 鈴木信雄、仙台地区 柿沼富雄、石巻地区 高橋 修

スカウトみやぎへの寄稿について

各地区・各団の広報委員、もしくは県連事務所まで写真・記事をお寄せ下さい

なお、季節によりお送り頂いた記事の掲載ができない場合があることをご承知下さい

<活動記事訂正> 前号、新潟地震義援金募金活動の記事 募金活動団を次のように訂正いたします。
正しくは 石巻 第2回、泉 第1回

編集後記

新しい委員会構成となりました。

当分従前のスタイルを踏襲するとしても今号から差し当たり用紙色合いを変えてお届けいたします。

編集委員挙げて、より宮城のボーイスカウト活動が見える広報誌としての紙面作りを目指して進む事と致しています。

何はともご多忙の中多くの原稿をお寄せ頂きました事への御礼と今後共よろしくご協力の程を。

■ 発行 日本ボーイスカウト

宮城県連盟

■ 編集 宮城県連盟広報委員会

■ TEL 0981-0915

仙台市青葉区通町1-6-9

宮城県通町分庁舎内

■ TEL/FAX

022-234-2359